

## パクリタキセルとカルボプラチンの治療をお受けになる方へ

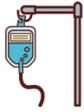
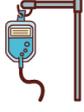
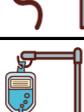


腫瘍は、正常細胞に比べて分裂増殖が盛んです。  
 パクリタキセルとカルボプラチンは、分裂増殖が盛んな細胞に作用しま  
 正常細胞でも分裂増殖が盛んな細胞は、薬の影響を受けやすく  
 副作用として現れてきます。  
 以下に、パクリタキセルとカルボプラチンによる治療の副作用を  
 ご説明しますがこれらの副作用がすべての方に必ず起こるわけでは  
 ありません。

薬の名前	1日目	2～21日目
パクリタキセル (成分名;パクリタキセル)		お休み
カルボプラチン (成分名;カルボプラチン)		お休み

症状や経過に合わせてお休み期間は変わります。  
 治療開始時にレスタミン5錠内服して頂きます。(アレルギー予防)

### 一日のスケジュール

	点滴時間	薬の名前	薬の働き
	15分	生理食塩水50ml パロノセトロン1A デキサート・ファモチジン	パロノセトロン;吐き気を抑える。 デキサート;吐き気を抑え、アレル ギーを予防。 ファモチジン;アレルギーの予防
	30分	生食100ml	生理食塩水;状態の観察。
	180分	生理食塩水500ml パクリタキセル	パクリタキセル;腫瘍の細胞分裂 を抑える。
	60分	生理食塩水250ml カルボプラチン	カルボプラチン;腫瘍の細胞分裂 を抑える。
	10分	生理食塩水50ml	生理食塩水; 点滴チューブの洗浄および状態の 確認

## ◎起こりやすい副作用について

### パクリタキセルとカルボプラチンによる副作用

#### ●食欲不振・吐き気・嘔吐

程度の差はありますが、ほとんどの方に認められる症状です。治療中から起こる事があり、1週間ほど続く場合があります。症状と時期に合わせて、吐き気止めのお薬を使い対応していきます。

#### ●脱毛

毛が抜けやすくなる、髪を洗ったときに多量の毛髪が抜けるといったことがあります。個人差はありますが、薬の投与2～3週間後に多く起こり、髪以外の部分(体毛・眉毛・陰毛)でも起こります。髪は、抗がん剤の治療が終われば3～6ヶ月後には再び生えてきます。

#### ●白血球減少

投与後10～14日頃に白血球数が最も減少すると言われています。白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。そのため、手洗い・うがいを心がけましょう！！

#### ●血小板減少

出血を止める作用がある血小板が少なくなると、内出血、鼻血、歯磨きによる口の中の出血などの症状が起こることがあります。

#### ●口内炎

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることがあります。口内炎は予防がもっとも大切です。口の中を清潔に保つよう心がけましょう！！

### パクリタキセルによる副作用

#### ●アルコール過敏症

この抗がん剤は水に溶けにくいので、アルコールを使って溶かしています。注射時のアルコール消毒で皮膚が赤くなる方、少量の飲酒で顔や全身が赤くなったり、具合が悪くなったりする方はお知らせください。

#### ●末梢神経障害

治療3～5日後から手や足がしびれたり、刺すような痛みがあったり、感覚が鈍くなったりすることがあります。症状が軽いうちに速やかな対処を行うことによって重くなることを防ぐことができます。

#### ●関節痛・筋肉痛

治療2～3日後に、肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。ほとんどは一時的で、5～6日以内に回復します。

## ◎その他の副作用について

#### ●血管痛・静脈炎、注射部位熱感・局所痛

薬が血管を刺激するため、治療中に血管の痛みや腫れが起こることがあります。また、数日後にも発赤、腫脹、熱感などを感じる場合があります。異常を感じたらすぐにお知らせください。

## ◎注意が必要な副作用について



これら以外の副作用があらわれる場合もありますので、気になる症状があらわれた際には必ず医師、薬剤師または看護師にご相談ください。

担当薬剤師